

研究課題名	多施設大規模脳磁図データによるてんかん研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 准教授 飯田 幸治
研究期間	2020年9月25日(倫理委員会承認後)～2025年3月31日
対象者	2000年1月から2022年2月の間に、広島大学病院脳神経外科で脳磁図検査を受けられた患者さん。
意義・目的	<p>多施設から共有した脳磁図データを元に機械学習を用いた解析や様々なてんかん病態の解明を可能にします。脳磁図は頭皮脳波よりもより詳しく脳の活動を計測でき、より詳しく脳で何が起きているかが分かると考えられています。このため、主にてんかんの術前検査などを目的として計測がされています。しかし、計測されたデータは各施設でのみ解析されてきたことから、てんかん患者さんで決まった検査結果のパターンが見られても、広島大学のみで認めるパターンなのか日本全国で同じパターンが、一般的に見られるか確認することが難しかったです。最近ではこのパターンを見つけるのに人工知能が注目されています。特に、人工知能を用いた自動診断などでは、他の施設データでも使えることが必要ですが、これを検証するデータは今のところ存在していません。そこで本研究では、日本国内で脳磁図計測を行う主だった施設が共同して、脳磁図データを共有し、人工知能による自動診断やてんかん病態解明のための解析を行うことを目的としております。</p>
方法	<p>本研究は、脳磁図データ、診療録（カルテ）情報を調査して行います。広島大学病院脳神経外科で蓄積している脳磁図データを対象とします。てんかん診療を目的として施行された脳磁図データを対象とする。脳磁図取得時の発作症候、診断、抗てんかん薬内服の有無および種類が分かるものにおいてはそれらを同時に登録します。（個人を特定可能な情報は解析に使いません）</p>
共同研究機関	<p>大阪大学医学部附属病院てんかんセンター、九州大学病院、広島大学病院脳神経外科、大阪市立大学脳神経外科、国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科、北斗病院精密医療センターで蓄積している脳磁図データを対象とします。大阪大学、広島大学に情報を集め大阪大学（研究責任者 貴島晴彦）、広島大学（研究責任者 飯田幸治）が解析します。</p>
試料・情報の管理責任者	<p>広島大学（研究責任者 准教授 飯田幸治）、大阪大学（研究責任者 教授 貴島晴彦）</p>
個人情報保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5227

広島大学病院脳神経外科 職名 飯田 幸治

研究機関：広島大学